

2021年6月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年8月12日

上場会社名 オージックグループ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6168 URL <http://www.ogicgroup.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田中 文彦
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画室長 (氏名) 金田 善雄 (TEL) 072(965)1011
 定時株主総会開催予定日 2021年9月24日 配当支払開始予定日 2021年9月30日
 発行者情報提出予定日 2021年9月27日
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年6月期の連結業績 (2020年7月1日~2021年6月30日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年6月期	3,596	△3.8	△329	—	△258	—	319	24.1
2020年6月期	3,739	△6.4	△158	—	△173	—	257	19.5

(注) 包括利益 2021年6月期 323百万円 (15.6%) 2020年6月期 279百万円 (299.7%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年6月期	245.46	—	26.9	△3.9	△9.2
2020年6月期	2,373.78	—	50.7	△2.7	△4.2

- (注) 1. 当社は2020年5月15日付で、当社普通株式20,000株を1株とする株式併合を実施しております。また2020年12月10日付で普通株式1株につき10株の株式分割を行いました。前連結会計年度の期首に当該株式併合及び株式分割が行われたと仮定して、1株当たり当期純利益を算定しております。
 2. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益は、潜在株式がないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年6月期	6,329	1,343	21.2	1,033.49
2020年6月期	6,911	1,027	14.9	790.75

(参考) 自己資本 2021年6月期 1,343百万円 2020年6月期 1,027百万円

- (注) 当社は2020年5月15日付で、当社普通株式20,000株を1株とする株式併合を実施しております。また2020年12月10日付で普通株式1株につき10株の株式分割を行いました。前連結会計年度の期首に当該株式併合及び株式分割が行われたと仮定して、1株当たり純資産を算定しております。

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年6月期	△56	779	△843	1,074
2020年6月期	798	31	△398	1,194

2. 配当の状況

	年間配当金			配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当率 (連結)
	中間期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	千円	%	%
2020年6月期	0.00	6.00	6.00	7,800	0.3	0.0
2021年6月期	0.00	6.00	6.00	7,800	2.4	0.7
2022年6月期(予想)	0.00	6.00	6.00		4.6	

3. 2022年6月期の連結業績予想（2021年7月1日～2022年6月30日）

（%表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	4,619	28.5	155	—	160	—	168	△47.3	129.37

※ 注記事項

（1）期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有

新規 一社（社名）— 除外 2社（社名）株式会社鍛冶屋、美原精工株式会社

（注）当社の完全子会社であった株式会社鍛冶屋及び美原精工株式会社は2021年2月11日開催の取締役会決議に基づき、2021年5月1日付で当社の完全子会社である株式会社オージックを存続会社とする吸収合併により消滅したため、連結の範囲から除外しております。

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | : 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| ④ 修正再表示 | : 無 |

（3）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年6月期	1,300,010株	2020年6月期	1,300,010株
② 期末自己株式数	2021年6月期	—株	2020年6月期	—株
③ 期中平均株式数	2021年6月期	1,300,010株	2020年6月期	108,343株

（注）当社は2020年5月15日付で、当社普通株式20,000株を1株とする株式併合を実施しております。また2020年12月10日付で、普通株式1株につき10株の割合で株式分割を行っております。

当連結会計年度、前連結会計年度にかかる株式数につきましては、前連結会計年度の期首に当該株式併合及び株式分割が行われたものと仮定して算定しております。

※決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報、および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、当決算短信【添付資料】3ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 連結貸借対照表	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	6
(3) 連結株主資本等変動計算書	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(セグメント情報)	11
(1株当たり情報)	11
(重要な後発事象)	11

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における世界経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大による活動制限が徐々に緩和され、経済活動が回復に向かい始めたものの、依然として厳しい状況にありました。また、欧米では再び新型コロナウイルス感染症が拡大するなど先行きは不透明でありましたが、年度後半にはワクチンの普及、各国の財政、金融政策の持続により多くの地域で回復基調に転じました。

日本経済におきましては、海外経済の回復から輸出を中心に回復傾向が見られましたが、依然として厳しい状況にありました。しかし年度後半には持ち直しの動きがみられました。

当社グループが属する金属加工業界、特に産業機械業界では5GやIoT投資が期待されることから期初より需要は堅調に推移しておりました。また、自動車業界におきましては、中国市場の早期の需要回復を受け、いち早く受注が復調しております。工作機械業界におきましても中国市場の需要回復の影響があったものの国内における受注の回復は年度後半からとなっております。他方、建設機械業界における景況は徐々に回復の兆しは見えつつあるものの依然として厳しい状況にあります。

そのような中で、当社グループは収益構造の改善としまして、東大阪加納工場を東大阪工場内へ、また、堺工場と富田林工場を美原工場内に移設しました。これらにより生産コストや管理事務コストの削減に取り組みました。また、工場の稼働率低下に伴い教育訓練給付金制度を活用し、作業員の多能工化に向けた教育訓練の実施や工数改善を目的とした原価管理制度の見直しによる生産性の向上に取り組みました。さらに、新型コロナウイルス感染症対策による訪問営業の中止からWeb受注に注力するなど営業活動のDX（デジタルトランスフォーメーション）化に取り組むとともに、グループ会社間における営業情報を共有するなどの営業活動のシナジー効果を図る施策を進めました。年度後半からは新型コロナウイルス感染症の拡大が抑制されたことにより、工作機械市場、自動車関連市場及び産業用プリンター市場の回復傾向が顕著となり、精密歯車製造事業、金属パイプ加工事業及び精密微細加工事業などを中心に受注は持ち直しに向かいました。

この結果、当連結会計年度の売上高は、年度後半には需要が回復したものの年度前半における需要の低迷により3,596,114千円（前年同期比3.8%減）となりました。利益面では固定費の圧縮により販売費及び一般管理費を削減するも、工場の稼働率低下が影響したことにより営業損失は329,151千円（前年同期は営業損失158,751千円）となりました。また、経常損失は258,946千円（前年同期は経常損失173,632千円）となったものの、資産性の高い貯蓄型保険の解約により親会社株主に帰属する当期純利益は319,103千円（前年同期比24.1%増）となりました。

なお、当社グループは金属部品加工事業の単一セグメントであるためセグメント別の記載を省略しております。

(2) 当期の財政状態の概況

(流動資産)

当連結会計年度末における流動資産は2,811,690千円となり、前連結会計年度末に比べ609千円減少いたしました。これは主に、現金及び預金が118,275千円減少、たな卸資産が47,799千円増加したことによるものであります。

(固定資産)

当連結会計年度末における固定資産は3,517,819千円となり、前連結会計年度末に比べ581,651千円減少いたしました。これは主に、有形固定資産が433,395千円減少したことによるものであります。

(流動負債)

当連結会計年度末における流動負債は2,010,127千円となり、前連結会計年度末に比べ104,122千円増加いたしました。これは主に、短期借入金が148,650千円増加したことによるものであります。

(固定負債)

当連結会計年度末における固定負債は2,975,833千円となり、前連結会計年度末に比べ1,001,954千円減少いたしました。これは主に長期借入金が737,378千円減少、リース債務が257,912千円減少したことによるものであります。

(純資産)

当連結会計年度末における純資産は1,343,549千円となり、前連結会計年度末に比べ315,570千円増加いたしました。これは主に、親会社株主に帰属する当期純利益319,103千円によるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、1,074,345千円で、前連結会計年度末に比べ120,083千円減少しております。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は56,399千円(前年同期は798,992千円の獲得)となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益が408,802千円があった一方で、未払金の減少額が275,993千円、法人税等の支払額110,132千円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果得られた資金は779,667千円(前年同期は31,225千円の獲得)になりました。これは主に、保険積立金の解約による収入575,934千円、有形固定資産の売却による収入448,688千円、有形固定資産の取得による支出327,646千円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は843,929千円(前年同期は398,090千円の使用)となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出1,340,534千円、リース債務の返済による支出294,498千円、短期借入金の純増額148,650千円、長期借入れによる収入653,519千円等によるものであります。

(4) 今後の見通し

当社グループの経営環境は、新型コロナウイルスの感染拡大の長期化が懸念されることなどで予断を許さない状況ではあるものの、工作機械受注が堅調に推移しており、また自動車関連や通信機器関連の需要も良好に推移するものと見込んでおります。

このような見通しのもと、2022年6月期の連結業績につきましては、売上高4,619百万円、営業利益155百万円、経常利益160百万円、親会社株主に帰属する当期純利益168百万円を予想しております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、現在、日本国内において事業展開をしていることなどから、当面は日本基準に基づいて財務諸表を作成する方針であります。なお、国際財務報告基準(IFRS)の適用につきましては、今後の事業展開や国内外の動向などを踏まえた上で検討を進めていく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年6月30日)	当連結会計年度 (2021年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,233,769	1,115,493
受取手形及び売掛金	739,647	695,748
電子記録債権	220,831	277,357
製品	149,119	154,872
仕掛品	209,696	265,841
原材料	99,294	85,196
その他	159,940	217,501
貸倒引当金	—	△321
流動資産合計	2,812,299	2,811,690
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物 (純額)	756,667	721,315
機械装置及び運搬具 (純額)	735,814	720,677
土地	1,073,812	936,238
リース資産 (純額)	920,449	680,120
その他 (純額)	29,943	24,940
有形固定資産合計	3,516,688	3,083,292
無形固定資産		
のれん	236,413	208,445
ソフトウェア	53,273	44,142
無形固定資産合計	289,687	252,588
投資その他の資産		
投資有価証券	67,949	63,048
繰延税金資産	100,405	39,096
その他	124,741	79,794
投資その他の資産合計	293,096	181,939
固定資産合計	4,099,471	3,517,819
資産合計	6,911,771	6,329,509

(単位: 千円)

	前連結会計年度 (2020年6月30日)	当連結会計年度 (2021年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	108,832	158,590
短期借入金	151,350	300,000
1年以内返済予定の長期借入金	654,670	705,033
リース債務	286,534	277,369
未払金	367,083	216,442
未払法人税等	67,335	14,280
未払消費税等	48,786	73,396
賞与引当金	50,765	61,995
その他	170,646	203,020
流動負債合計	1,906,004	2,010,127
固定負債		
長期借入金	2,195,006	1,457,628
リース債務	732,402	474,489
繰延税金負債	155,390	161,592
役員退職慰労引当金	298,179	301,589
退職給付に係る負債	394,422	375,874
その他	202,386	204,659
固定負債合計	3,977,787	2,975,833
負債合計	5,883,791	4,985,960
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,000	10,000
資本剰余金	760,765	760,765
利益剰余金	256,005	567,309
株主資本合計	1,026,771	1,338,074
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	1,208	5,474
その他の包括利益累計額合計	1,208	5,474
純資産合計	1,027,979	1,343,549
負債純資産合計	6,911,771	6,329,509

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年7月1日 至 2020年6月30日)	当連結会計年度 (自 2020年7月1日 至 2021年6月30日)
売上高	3,739,851	3,596,114
売上原価	2,924,303	3,163,919
売上総利益	815,547	432,194
販売費及び一般管理費	974,299	761,346
営業損失(△)	△158,751	△329,151
営業外収益		
受取利息	136	19
受取配当金	6	754
持分法による投資利益	2,111	—
助成金収入	16,748	59,268
その他	18,273	36,729
営業外収益合計	37,276	96,771
営業外費用		
支払利息	40,602	15,118
控除対象外消費税額	—	3,896
その他	11,554	7,551
営業外費用合計	52,156	26,566
経常損失(△)	△173,632	△258,946
特別利益		
関係会社株式売却益	17,707	—
固定資産売却益	39,939	176,511
国庫補助金	33,599	3,796
負ののれん発生益	199,977	—
保険解約返戻金	259,137	566,672
特別利益合計	550,361	746,980
特別損失		
固定資産売却損	2,311	2,744
固定資産除却損	1,199	7,327
減損損失	55,000	—
固定資産移設費用	6,500	57,680
たな卸資産廃棄損	—	11,477
特別損失合計	65,010	79,230
税金等調整前当期純利益	311,719	408,802
法人税、住民税及び事業税	76,019	22,188
法人税等調整額	△45,100	67,510
法人税等合計	30,919	89,699
当期純利益	280,799	319,103
非支配株主に帰属する当期純利益	23,617	—
親会社株主に帰属する当期純利益	257,182	319,103

(連結包括利益計算書)

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 2019年7月1日 至 2020年6月30日)	当連結会計年度 (自 2020年7月1日 至 2021年6月30日)
当期純利益	280,799	319,103
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△1,131	4,266
その他の包括利益合計	△1,131	4,266
包括利益	279,668	323,370
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	256,050	323,370
非支配株主に係る包括利益	23,617	—

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度 (自 2019年7月1日 至 2020年6月30日)

(単位: 千円)

	株主資本			
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本合計
当期首残高	10,000	—	△26,165	△16,165
当期変動額				
親会社株主に帰属する当期純利益	—	—	257,182	257,182
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動	—	760,765	—	760,765
持分法の適用範囲の変更	—	—	24,988	24,988
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)	—	—	—	—
当期変動額合計	—	760,765	282,171	1,042,936
当期末残高	10,000	760,765	256,005	1,026,771

	その他の包括利益累計額		非支配株主持分	純資産合計
	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	2,340	2,340	738,828	725,002
当期変動額				
親会社株主に帰属する当期純利益	—	—	—	257,182
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動	—	—	—	760,765
持分法の適用範囲の変更	—	—	—	24,988
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)	△1,131	△1,131	△738,828	△739,960
当期変動額合計	△1,131	△1,131	△738,828	302,976
当期末残高	1,208	1,208	—	1,027,979

当連結会計年度 (自 2020年7月1日 至 2021年6月30日)

(単位: 千円)

	株主資本			
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本合計
当期首残高	10,000	760,765	256,005	1,026,771
当期変動額				
剰余金の配当	—	—	△7,800	△7,800
親会社株主に帰属する当期純利益	—	—	319,103	319,103
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)	—	—	—	—
当期変動額合計	—	—	311,303	311,303
当期末残高	10,000	760,765	567,309	1,338,074

	その他の包括利益累計額		純資産合計
	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	1,208	1,208	1,027,979
当期変動額			
剰余金の配当	—	—	△7,800
親会社株主に帰属する当期純利益	—	—	319,103
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)	4,266	4,266	4,266
当期変動額合計	4,266	4,266	315,570
当期末残高	5,474	5,474	1,343,549

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年7月1日 至 2020年6月30日)	当連結会計年度 (自 2020年7月1日 至 2021年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	311,719	408,802
減価償却費	563,951	602,939
減損損失	55,000	—
のれん償却額	39,092	27,968
負ののれん発生益	△199,977	—
持分法による投資損益 (△は益)	△2,111	—
関係会社株式売却損益 (△は益)	△17,707	—
固定資産売却損益 (△は益)	△37,627	△173,766
固定資産除却損	1,199	7,327
保険解約返戻金	△259,137	△566,672
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	—	321
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△13,134	11,189
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	13,414	△18,548
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△123,474	3,410
受取利息及び受取配当金	△142	△773
支払利息	40,602	15,118
売上債権の増減額 (△は増加)	466,635	△11,823
たな卸資産の増減額 (△は増加)	69,496	△47,773
仕入債務の増減額 (△は減少)	△87,180	49,757
未払金の増減額 (△は減少)	46,772	△275,993
その他	△17,214	36,597
小計	850,176	68,080
利息及び配当金の受取額	140	771
利息の支払額	△40,602	△15,118
法人税等の支払額	△10,721	△110,132
営業活動によるキャッシュ・フロー	798,992	△56,399
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額 (△は増加)	5,135	△600
有形固定資産の取得による支出	△390,587	△327,646
有形固定資産の売却による収入	49,465	448,688
無形固定資産の取得による支出	△15,225	△10,794
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	149,963	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△58,013	—
投資有価証券の売却による収入	—	61,571
保険積立金の解約による収入	265,394	575,934
その他	25,092	32,515
投資活動によるキャッシュ・フロー	31,225	779,667
財務活動によるキャッシュ・フロー		
非支配株主への配当金の支払額	△780	—
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△32,000	148,650
長期借入れによる収入	972,650	653,519
長期借入金の返済による支出	△795,609	△1,340,534
社債の償還による支出	△280,000	—
リース債務の返済による支出	△255,032	△294,498
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△786	—
配当金の支払額	—	△7,800
その他	△6,531	△3,265
財務活動によるキャッシュ・フロー	△398,090	△843,929
現金及び現金同等物に係る換算差額	621	577
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	432,748	△120,083
現金及び現金同等物の期首残高	761,680	1,194,428
現金及び現金同等物の期末残高	1,194,428	1,074,345

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

当社グループは金属部品加工事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2019年7月1日 至 2020年6月30日)	当連結会計年度 (自 2020年7月1日 至 2021年6月30日)
1株当たり純資産額	790.75円	1,033.49円
1株当たり当期純利益	2,373.78円	245.46円

(注) 1. 当社は2020年5月15日付で、当社普通株式20,000株を1株とする株式併合を実施しております。

また2020年12月10日付で普通株式1株につき10株の株式分割を行いました。前連結会計年度の期首に当該株式併合及び株式分割が行われたと仮定して、1株当たり純資産額及び1株当たり当期純利益を算定しております。

2. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式がないため記載しておりません。

3. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2019年7月1日 至 2020年6月30日)	当連結会計年度 (自 2020年7月1日 至 2021年6月30日)
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	257,182	319,103
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	257,182	319,103
普通株式の期中平均株式数(株)	108,343	1,300,010

(重要な後発事象)

該当事項はありません。